

Technical NOTE

製品のIoT化を加速する μC3 WLAN SDK



「WLAN SDK」

<http://go.aps-web.jp/19-eforce>
QRコードで最新情報をご覧ください。

オープンソースとは違う

オープンソースを使うと無償なので、安価でモノが作れるというのは幻想かもしれません。確かに試作などのリファレンス用に開発を行う場合は、良いですが。ネットワークは接続相手によって動作が変わる可能性があります。試作で正常に動作しても接続相手が変わると全く動作しなくなる可能性もあります。クラウド側はセキュリティ強化のため、否応無しにアップデートを行います。クライアント側のソフトウェアもアップデートが必要です。時間が経てばいずれ誰かがバッチを用意してくれます。時間がなければ自分でソフトウェアを修正したりデバッグすることになります。それらのコストは考慮していますか？

μC3 WLAN SDK

太陽誘電のCPU内蔵型無線LANモジュール用のWiFiドライバ、軽量でコンパクトなRTOSとTCP/IP、クラウド接続に必要なHTTPとMQTT、セキュリティのためのTLSやEAP/TLS、製品出荷後にアップデートが可能なOTAなどIoTに必要な各種ライブラリを用意した開発キットです。

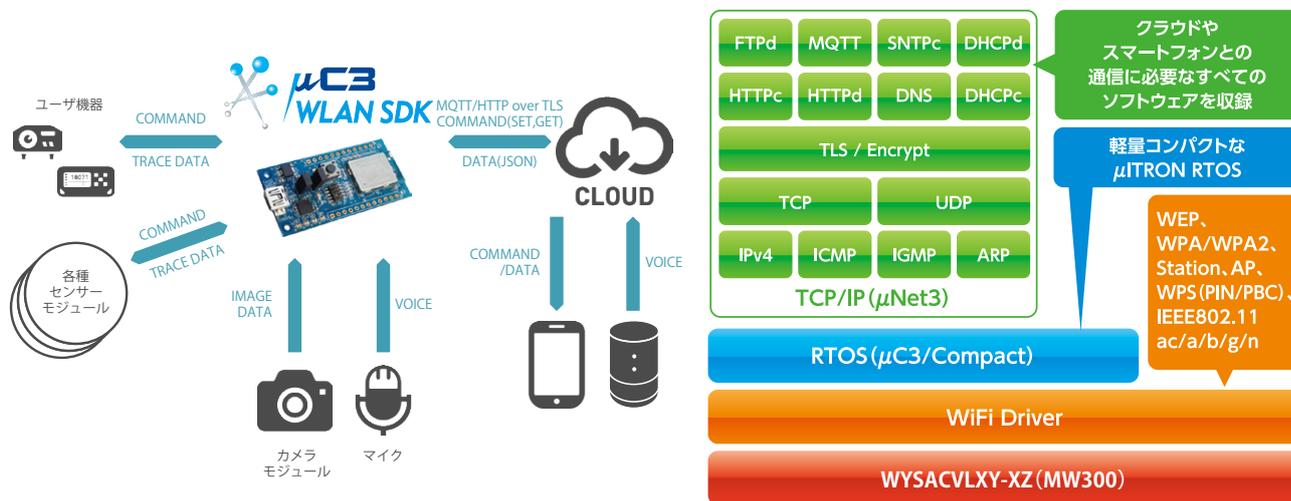
簡単、迅速に無線LANを使ったアプリケーション開発ができるIoTに最適なソリューションを提供いたします。全てのソフトウェアは自社でフルスクラッチで開発し、エンジニアが直接技術サポートを行います。要求に合わせてクラウドやスマートフォンのアプリケーション開発やカスタマイズ対応も可能です。

太陽誘電社の

CPU内蔵型無線LANモジュール

WYSACVLXY-XZは200MHzで動作するCortex-M4コア内蔵のMarvell社88MW300が採用されており、ROM 4MByte、RAM 512KByteの大容量メモリが利用できます。各種ペリフェラルも利用可能で、無線を使ったクラウドとの暗号化通信だけではなく、I2Cを使った各種センサー入力、SPIでEthernetやFlashメモリの拡張やPWMでのモーター制御なども利用できます。

従来CPU内蔵無線LANモジュールは独立させてネットワークの処理だけで利用されるケースが一般的でしたが、コンパクトなμC3と組み合わせることで、通信機能だけではなく様々なことが応用できます。



左図：μC3 WLAN SDKの応用範囲 右図：μC3 WLAN SDKソフトウェア構成



Twitter : <https://twitter.com/eForceofficial>
Facebook : <https://www.facebook.com/eForce-CoLtd-152861001448968/>
Youtube : <https://www.youtube.com/channel/UC10Sa9Ruox5I0JQnQV6qYrMA/>

イー・フォース株式会社
<https://www.eforce.co.jp/>

TAIYO YUDEN

太陽誘電株式会社
<https://www.yuden.co.jp/>